

京都市はぐくみ推進審議会
平成30年度 第2回「ひとり親家庭支援部会」
次 第

平成30年7月19日（木）
午 後 4 時 か ら
子ども若者はぐくみ局会議室

<議題>

京都市ひとり親家庭に関する実態調査について

<配布資料一覧>

資 料 1	委員名簿
資 料 2	京都市ひとり親家庭に関する実態調査（案）についての意見一覧
資 料 3	京都市ひとり親家庭に関する実態調査
参考資料1	京都市ひとり親家庭に関する実態調査（案）（※1）
参考資料2	前回調査結果（平成25年実施）

（※1）平成30年6月15日（金）京都市はぐくみ審議会第1回ひとり親家庭支援
部会資料9と同一資料

京都市はぐくみ推進審議会
ひとり親家庭支援部会 委員及び特別委員名簿

1 委員

(50音順・敬称略)

	関係機関・団体・市民参加者	氏名	備考
1	同志社大学 教授	埋橋 孝文	部会長
2	市民公募委員	西 恵味	

2 特別委員

(50音順・敬称略)

	関係機関・団体・市民参加者	氏名	備考
1	京都市男女共同参画推進協会 専務理事	指宿 達也	欠席
2	京都市母子寡婦福祉連合会 副会長	草野 政子	
3	京都労働局職業安定部職業安定課 課長補佐	小林 正	
4	京都母子生活支援施設協議会 会長	芹澤 出	

ひとり親家庭支援部会における委員からの意見及び調査票への反映一覧

設問番号	意見	調査票への反映
問12(2) (8)ア 問13(3)ア	選択肢「2. パート・アルバイト」「3. 契約・登録・派遣社員(職員)」を「2. 契約・パート・アルバイト」「3. 派遣社員」にしてはどうか。形態の近いものをまとめたほうがよいと思う。	・意見のとおり修正する。 ※問12(2)→【問12(3)】に変更
問12(3) (8)イ 問13(3)イ	選択肢を、「1. 管理的職業(公務員、会社・団体の役員など)」「2. 専門的・技術的職業(医師、看護師、教員、医療・介護技術者、情報処理技術者、建築技術者など)」「3. 事務的な職業(事務員、パソコンオペレーターなど)」「4. 販売関係の職業(商品販売、営業など)」「5. サービス関係の職業(介護職員、理・美容師、飲食店店員など)」「6. 製造、建設、運輸、清掃、労務関係の職業」「7. その他()」にしてはどうか。日本標準職業分類(総務省)に準拠したものである。	・意見のとおり修正する。 ※問12(3)→【問12(4)】に変更
問13(1)	理由が重複すること多いことから、複数回答可としてはどうか。	3つまで複数回答可とする。
問13(3)	就職先を探す方法をお伺いする質問を設けてもよいのではないかと。 Q 就職先を探すとき、あなたは、どのようにさがしますか。(〇はふたつまで) 「1. ハローワーク」「2. 求人情報誌(インターネット・スマートフォンを含む)」「3. 縁故(友達や知り合いを通じて探す)」「4. 以前勤務していた会社に戻る」「5. 自営をはじめる」「6. 派遣社員に登録する」「7. その他()」	意見のとおり内容で、問13(3)ウとして質問を設ける。
問14	類似する資格、関連ある資格はまとめてはどうか。	当初の選択肢から、「高等職業訓練促進給付金事業」の京都市における現在の対象資格及び国要綱に例示されている資格、また小林委員からの意見票に記載のあった資格とを併せ、まとめる。
問14	前回調査では、「その他、不明・無回答」が多かったので、その他に自由記載欄を設けてはどうか。	選択肢に、「その他()」項目を3つ追加する。
問21	選択肢の「12. 特にかさむものはない」は不要ではないか。	選択肢を削除する
問29	選択肢に「学習の遅れ」「不登校」を追加してはどうか。	当初の選択肢「教育・進学」を「教育・進学・学習の遅れ」に変更、また、選択肢に「不登校」を追加する。
問31	選択肢に「見てくれる人がいない」を追加してはどうか。	選択肢に追加する。
問32	選択肢に「見てくれる人がいない」を追加してはどうか。	選択肢に追加する。
問35	質問文が冗長で分かりにくい。学習支援の内容の説明は、別に囲み記事のように記載する等対応してはどうか。	質問文は簡略し、別途内容説明を囲み記事で記載する。
問35(4)	選択肢に「子どもが希望しない」を追加してはどうか。	選択肢に追加する。
問39	選択肢「3. あまりない」「4. ない」を回答された場合、その理由も聞けるようにしてはどうか。	・問38(2)として質問を追加し、理由をお伺いできるようにする。
問46	選択肢の「3. あなたの就職や仕事」を「3. 就職や仕事」にしてはどうか。他の選択肢と文言を併せているほうがよいのではないかと。	・意見のとおり修正する。 ※【問45】に変更
問47	選択肢「5. 近所の人に相談」について、民生委員に置き換えてはどうか。	選択肢「5. 近所の人に相談」は残しつつ、「6. 民生委員・児童委員に相談」を追加する。
問50(2)	選択肢「6. 無料法律相談」「7. 養育費・子どもとの面会交流などの相談」は、「無料法律相談」でまとめて良いのではないかと。	・選択肢を「6. 養育費・子どもとの面会交流などの相談」「7. 「6」以外の無料法律相談」に修正する。 ※【問49】に変更
問50(4)	選択肢に「場所が遠い」を追加してはどうか。	・選択肢に追加する。 ※【問49】に変更
問51	選択肢「12. 子どもがいなかったら生活が楽になると思うことがある」は不要ではないか。	・選択肢を削除する ※【問50】に変更
問53	質問文を工夫することで、さらに回答者の気持ちに寄り添えるような項目にできないか。	・「苦しい時やつらい時を乗り越える、気持ちを切り替える為の手段等」をお伺いできるよう質問文を修正する。 ※【問54】に変更
	親の気持ちに余裕があるとか、健康かどうかなど、不安な気持ちを汲み取ってくれるような質問もあったら寄り添ってもらえている感じがするのではないかと。	問6として、回答者の現在の気持ちやからだの調子をお伺いする質問を設ける。
問5	回答者への負担感を減らすため、質問項目を少しでも減らせればと思う。削除してもよい質問ではないか。	削除する。

設問番号	意見	調査票への反映
問7	回答者への負担感を減らすため、質問項目を少しでも減らせればと思う。削除してもよい質問ではないか。	・調査票への反映はなし。 (前回調査で父子と母子で異なる傾向があり、前回調査との比較検討のため) ・【問9】に変更
問12(4)	回答者への負担感を減らすため、質問項目を少しでも減らせればと思う。削除してもよい質問ではないか。	・調査票への反映はなし。 (従業員規模との関連性を調査する項目もあるため)
問12(8)	回答者への負担感を減らすため、質問項目を少しでも減らせればと思う。削除してもよい質問ではないか。	調査票への反映はなし。 (回答を希望する他委員がいるため)
問17	公営住宅への転居希望がない場合の理由も聞けるようにしてはどうか。	調査票への反映はなし。 (他施策に関わる内容のため)
問26	不要(一言で答えにくい)な質問ではないか。	調査票への反映はなし。 (前回調査でも、クロス集計を行うことで、年代別の集計を行った項目のため)
問36	回答者への負担感を減らすため、質問項目を少しでも減らせればと思う。削除してもよい質問ではないか。	・調査票への反映はなし。 (貧困に係る質問であるため) ・【問7】に変更
問38～39 41～43	ひとり親向け「以外」の調査結果と比較が必要であれば仕方がないが、ひとり親に向けた質問だとすると、攻められている感じがして、回答者が嫌な気持ちになるかもしれないと感じる。	・調査票への反映はなし。 (貧困に係る質問で、他部会の調査票と統一するため) ・問38→【問37】に変更 ・問39→【問38(1)】に変更 ・問41→【問40(1)(2)】に変更 ・問42→【問41】に変更 ・問43→【問42(1)】に変更
問43(2)	選択肢に「兄弟姉妹がつくった食事」を追加してはどうか。	調査票への反映はなし。 (貧困に係る質問で、他の調査票と統一するため)
問44	無難な回答になる質問のため、不要ではないか。または、他の聞き方に変えてはどうか。	・調査票への反映はなし (貧困に係る質問で、他の調査票と統一するため) ・【問43】に変更
問45	選択肢の「6. 学生時代の友人」について、学生時代に限定しなくてよいのではないか。	・調査票への反映はなし ※ 順番のみ修正 ・【問44】に変更
問52(1)	要望したいことはたくさんあると思われるので、複数回答可としてはどうか。	調査票への反映はなし。 (他の調査票と回答方法を統一させるため)
問53	前回調査では、「偏見に苦しむ」が最も多い回答であったが、「どのような偏見に苦しんだ」方が多いのか不明だった。もう少し詳しい分析ができるようにする必要があるのでは。	調査票への反映はなし。 (自由記述欄のため、個人の意見に対する分類分けは困難であるため、必要に応じてクロス集計調査を活用する。)

京都市 ひとり親家庭に関する実態調査

調査へのご協力をお願い

平素は、市政の推進にご協力をいただき、ありがとうございます。

京都市では、本市にお住まいのひとり親家庭の皆様の福祉施策の充実を図ることを目的として、「京都市ひとり親家庭実態調査」を実施いたします。この調査は、平成25年に引き続き実施するものです。今回、住民基本台帳から対象者を無作為に抽出し、この調査票をお送りしております。

本調査では、あなたご自身のことなど、立ち入ったこともいくつかお聞きしておりますので、答えたくない質問については無理に答えなくても構いません。また、本調査は無記名方式で実施し、回収した調査票は、すべて統計的に処理しますので、回答いただくことによって、あなたにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

調査結果は、京都市の「ひとり親家庭自立促進計画」を含む「京都市未来こどもはぐくみプラン」の次期計画を策定するための基礎資料として十分に活用してまいります。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年9月

京都市長 門川大作

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、宛名のご本人がご回答ください。また、この調査は、ひとり親家庭の皆様を対象としています。ひとり親家庭の方は最後の質問までご回答ください。
2. 回答は「年月」や人数など、数字を記入するものと、該当する項目の選択肢番号に○印をつけるものがあります。回答がひとつのみ選択の場合や複数選択の場合がありますので、設問指示にしたがってお答えください。
3. 「その他」にお答えのときは、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 年齢、家族構成など期日が関係する設問には●月●日現在でご回答ください。
5. この調査は、すべてご回答いただくのに約●分ほどかかります。
6. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに9月●日（●）までにポストにご投函ください。

※この調査票は、設定した条件に当てはまる方を、●月●日時点のデータをもとに機械処理により無作為に抽出してお送りしており、その抽出の仕組み上、ひとり親家庭ではないご家庭が対象とされている場合があります。

その場合は、問1のみをご回答（問2以降は未記入のまま）のうえ、調査票をご返送ください。

【調査に関するお問い合わせ先】

京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部子ども家庭支援課

ひとり親家庭実態調査担当 電話：075-746-7625 FAX：075-251-1133

お問い合わせ受付時間：平日 9：00～17：30

※返送先は、京都市が調査・集計業務を委託している『株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所』宛てとなっています。

問1 あなたのご家庭は「母子家庭」または「父子家庭」に該当しますか。下欄の説明を参考にお答えください。(○は1つ)

1. 母子家庭

2. 父子家庭

3. 該当しない

※母子家庭または父子家庭について

母子家庭または父子家庭とは、現に配偶者がなく、20歳未満の子どもを育てている家庭をいいます。

- ・死別、離婚、未婚など、現に配偶者のない方
- ・配偶者の生死不明、家出などで、配偶者に遺棄されている方

などが該当します。

ただし、婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合は「母子家庭」または「父子家庭」とはしません。また、単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学の都合などによる一時別居も「母子家庭」または「父子家庭」とはしません。

※母子家庭または父子家庭（以下「ひとり親家庭」という。）でない方は、これで調査は終わりです。

調査票は返信用封筒でご返送ください。

ひとり親家庭の方は、引き続き下の問2から最後の質問までご回答ください。

あなたご自身のことや世帯・家庭の状況についてうかがいます

問2 あなたの生年月を記入してください。

1. 昭和 () 年 () 月 生 2. 平成 () 年 () 月 生

問3 あなたのお子さま（平成30年9月●日現在で20歳未満のお子さまに限ります。）は、次のいずれに当てはまりますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、その右の欄に同居、別居別の人数を記入してください。(○はいくつでも)

子ども	同居	別居
◎合計	人	人
1. 乳児（0歳児）	人	人
2. 1歳～2歳児	人	人
3. 3歳～小学校入学前	人	人
4. 小学校1年～3年生	人	人
5. 小学校4年～6年生	人	人
6. 中学生	人	人
7. 高校生	人	人
8. 短大生・高専生	人	人
9. 大学生	人	人
10. 専門学校生・その他の学生	人	人
11. 仕事をしている子ども	人	人
12. 卒業した無職の子ども	人	人
13. その他 ()	人	人

問4 世帯の人数（①～⑤は、ご自分や問3に記入したお子さまは除く。）をそれぞれご記入ください。

①あなたの 父母	②あなたの 兄弟姉妹	③あなたの 祖父母	④20歳以上の 子ども	⑤その他	⑥ご自分と問3の同居の お子さまを含む合計人数
()人	()人	()人	()人	()人	()人

問5 あなたは誰と一緒に暮らしていますか。（〇はいくつでも）

1. 一人暮らし	2. 父親	3. 母親	4. 兄弟姉妹
5. 内縁の夫・妻	6. 自分子ども	7. 祖父母	8. 親戚
9. 友人	10. 恋人	11. その他（	）

問6 現在のあなたの気持ちやからだの調子はいかがですか。（〇は1つ）

1. 心身ともに快調	2. からだの調子はよいが、精神的に不調
3. 精神的にはよいが、からだの不調	4. 心身ともに不調
5. なんともいえない	

問7 あなたの最終学歴についてお答えください。（〇は1つ）

1. 中学校	2. 高校	3. 高等専門学校	4. 短大
5. 大学・大学院	6. 専修学校・各種学校	7. その他（	）

ひとり親家庭になったときの状況についてうかがいます

問8 ひとり親家庭になった時の年齢を記入してください。

()歳

※配偶者と2回以上離婚または死別している場合は、もっとも近い場合について記入してください（以下の質問についても同じ）。

問9 前配偶者との婚姻期間について教えてください。（〇は1つ）

1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10年以上	5. なし	

問10① ひとり親家庭となった理由についてお答えください。（〇は1つ）

1. 病死	2. その他の理由による死別
3. 離婚（協議）	4. 離婚（調停）
5. 離婚（審判）	6. 離婚（裁判）
7. 遺棄（家出など）	8. 生死不明
9. 未婚での子の出生	10. その他（

※問10①で「3～6」と答えた方にうかがいます。それ以外の方はp.3問11①へお進みください。▶

問10② 離婚を決意した主たる要因は何ですか。（〇は1つ）

1. 性格が合わない	2. 異性関係	3. 暴力をふるう
4. 浪費する	5. 酒を飲みすぎる	6. 親族と折り合いが悪い
7. 家庭をかえりみない	8. その他（	）

問 11① ひとり親家庭になられたとき、あなたは仕事をしていましたか。(○は 1 つ)

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 今と同じところで仕事をしていた | ⇒問 12①へ |
| 2. 今と違ったところで仕事をしていた | ⇒問 11②へ |
| 3. 仕事をしていなかった | ⇒問 12①へ |

「問 11①で「2. 今と違ったところで仕事をしていた」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 12①へお進みください。」

問 11② その時していた仕事を辞めた理由についてお答えください。(○は 1 つ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 収入がよくない | 2. 勤め先が自宅から遠い |
| 3. 健康がすぐれない | 4. 仕事の内容がよくない |
| 5. 職場環境になじめない | 6. 労働時間が合わない |
| 7. 社会保険がないまたは不十分 | 8. 休みが少ない・自由にとれない |
| 9. 身分が安定していない | 10. 経験や能力が発揮できない |
| 11. 自営業で就業していたが、離婚したため | 12. 子どもの世話・家事等との両立が困難 |
| 13. その他 () | |

現在の仕事についてうかがいます

問 12① あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。(○は 1 つ)

- | | | | |
|-----------------|--------------|------------------|---------|
| 1. 1 つの仕事だけしている | ⇒問 12②へ | 2. 2 つ以上の仕事をしている | ⇒問 12②へ |
| 3. 仕事をしていない | ⇒p. 5 問 13①へ | | |

「収入を伴う仕事を **している** 方にうかがいます。それ以外の方は問 13①へお進みください。」

問 12② あなたが現在の仕事についてから何年になりますか。(○は 1 つ)

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 1 年未満 | 2. 1～3 年未満 | 3. 3～5 年未満 |
| 4. 5～10 年未満 | 5. 10 年以上 | |

※2 つ以上の仕事をされている場合は、主な仕事(収入、就労時間により判断してください)について記入してください。

問 12③ あなたの就労形態についてお答えください。(○は 1 つ)

- | | | |
|------------|-----------------|------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. 契約・パート・アルバイト | 3. 派遣社員 |
| 4. 自営業主 | 5. 家族従業者 | 6. 内職・在宅就業 |
| 7. その他 () | | |

問 12④ その仕事の種類についてお答えください。(○は 1 つ)

- | |
|--|
| 1. 管理的職業(公務員、会社・団体の役員など) |
| 2. 専門的・技術的職業(医師、看護師、教員、医療・介護技術者、情報処理技術者、建築技術者など) |
| 3. 事務的な職業(事務員、パソコンオペレーターなど) |
| 4. 販売関係の職業(商品販売、営業など) |
| 5. サービス関係の職業(介護職員、理・美容師、飲食店店員など) |
| 6. 製造、建設、運輸、清掃、労務関係の職業 |
| 7. その他 () |

問 12⑤ 勤務先（自営業の方は家族従業員を含む）の規模（従業員数）についてお答えください。（○は 1 つ）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 1～4人 | 2. 5～9人 |
| 3. 10～29人 | 4. 30～99人 |
| 5. 100～299人 | 6. 300人以上 |

問 12⑥ あなたの普段の平均的な勤務時間（残業が恒常的になっている方はその時間も含む）はどのようになっていますか。（○は 1 つ）

また、仕事が終わって帰宅するのは何時ごろですか。定時制の方は、勤務時間と帰宅時間のそれぞれについて、24 時制で（ ）内に具体的な時刻を記入してください。

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1. 定時制 | ①勤務時間：（ ）時（ ）分 ～ （ ）時（ ）分まで |
| | ②帰宅時間：（ ）時（ ）分ごろ |
| 2. 交代制のため一定しない | |

問 12⑦ あなたの仕事上の悩みについてお答えください。（○は いくつでも）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 収入が少ない | 2. 労働時間が合わない |
| 3. 職務内容が合わない | 4. 経験や能力が発揮できない |
| 5. 休日が少ない・自由にとれない | 6. 通勤が遠い |
| 7. 社会保険がないまたは不十分 | 8. 身分が安定していない |
| 9. 職場環境（人間関係）になじめない | 10. 健康がすぐれない |
| 11. 子どもの世話・家事等との両立が困難 | 12. その他（ ） |

問 12⑧ 現在、あなたには転職の希望 **がありますか**。（○は 1 つ）

- | | |
|-------|--------------|
| 1. ある | ⇒問 12⑨アへ |
| 2. ない | ⇒p. 6 問 14 へ |

「**転職の希望がある方にうかがいます。それ以外の方は p. 6 問 14 へお進みください。**」

→ 問 12⑨ア 転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。（○は 1 つ）

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. 契約・パート・アルバイト |
| 3. 派遣社員 | 4. 自営業主 |
| 5. 家族従業者 | 6. 内職・在宅就業 |
| 7. その他（ ） | |

問 12⑨イ 転職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。（○は 1 つ）

- | |
|--|
| 1. 管理的職業（公務員、会社・団体の役員など） |
| 2. 専門的・技術的職業（医師、看護師、教員、医療・介護技術者、情報処理技術者、建築技術者など） |
| 3. 事務的な職業（事務員、パソコンオペレーターなど） |
| 4. 販売関係の職業（商品販売、営業など） |
| 5. サービス関係の職業（介護職員、理・美容師、飲食店店員など） |
| 6. 製造、建設、運輸、清掃、労務関係の職業 |
| 7. その他（ ） |

《現在、収入を伴う仕事をしていない方にうかがいます。それ以外の方は p. 6 問 14 へお進みください。》

問 13① その理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 子どもの世話をしてくれる人がいない | 2. 病気で働けない |
| 3. 求職中 | 4. 職業訓練を受けたり技術習得中 |
| 5. 家族の世話をするため仕事につけない | 6. 収入面で条件の合う仕事がない |
| 7. 勤務時間の面で条件の合う仕事がない | 8. 年齢的に条件の合う仕事がない |
| 9. その他 (|) |

問 13② あなたは今後、就職の希望はありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. ある ⇒問 13③アへ | 2. ない ⇒p. 6 問 14 へ |
|----------------|--------------------|

《就職の希望がある方にうかがいます。それ以外の方は p. 6 問 14 へお進みください。》

問 13③ア 就職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. 契約・パート・アルバイト |
| 3. 派遣社員 | 4. 自営業主 |
| 5. 家族従業者 | 6. 内職・在宅就業 |
| 7. その他 (|) |

問 13③イ 就職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。(○は1つ)

- | | |
|--|---|
| 1. 管理的職業（公務員、会社・団体の役員など） | |
| 2. 専門的・技術的職業（医師、看護師、教員、医療・介護技術者、情報処理技術者、建築技術者など） | |
| 3. 事務的な職業（事務員、パソコンオペレーターなど） | |
| 4. 販売関係の職業（商品販売、営業など） | |
| 5. サービス関係の職業（介護職員、理・美容師、飲食店店員など） | |
| 6. 製造、建設、運輸、清掃、労務関係の職業 | |
| 7. その他 (|) |

問 13③ウ 就職先を探すとき、あなたは、どのように探しますか。(○は2つまで)

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1. ハローワーク | 2. 求人情報誌（インターネット・スマートフォンを含む） |
| 3. 縁故（友達や知り合いを通じて探す） | 4. 以前勤務していた会社に戻る |
| 5. 自営をはじめる | 6. 派遣社員に登録する |
| 7. その他 (|) |



あなたがお持ちの資格や技能についてうかがいます

問 14 ①現在持っている技能や資格などがありますか。また、そのうち仕事（就職）に役立っている技能や資格はありますか。（○はいくつでも）

②今後とりたいと思っている技能や資格などがありますか。（○は主なもの3つまで）

	①持っている 資格など	うち仕事（就職）に 役立っている資格	②とりたい 資格など
1. 看護師・保健師	1	1	1
2. 栄養士・管理栄養士	2	2	2
3. 調理師	3	3	3
4. 製菓衛生師	4	4	4
5. 美容師・理容師	5	5	5
6. 保育士・幼稚園教諭	6	6	6
7. パソコン	7	7	7
8. 簿記・速記	8	8	8
9. 社会福祉士	9	9	9
10. 介護初任者	10	10	10
11. 介護福祉士	11	11	11
12. 医療事務	12	12	12
13. 歯科衛生士・歯科技工士	13	13	13
14. 理学療法士・作業療法士	14	14	14
15. 大型自動車免許	15	15	15
16. 大型・普通第二種免許	16	16	16
17. 言語聴覚士	17	17	17
18. 視能訓練士	18	18	18
19. その他（ ）	19	19	19
20. その他（ ）	20	20	20
21. その他（ ）	21	21	21
22. 特にない	22	22	22

現在のお住まいについてうかがいます

問 15 お住まいになっている住宅の種類についてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|------------------|------------|
| 1. 持ち家（本人名義） | 2. 公営住宅（府・市営） | 3. 公社・公団住宅 |
| 4. 社宅 | 5. 賃貸住宅 | 6. 間借り |
| 7. 実家や親戚の家に同居 | 8. 母子生活支援施設（母子寮） | |
| 9. その他（ | | ） |

問 16 現在の住宅に住まれるようになったのは、ひとり親家庭になる前からですか。それともひとり親家庭になってからですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. ひとり親家庭になる前から | 2. ひとり親家庭になってから |
|-----------------|-----------------|

問 17 公営住宅（府・市営）への転居の希望はありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

あなたの世帯の収入状況・生活費についてうかがいます

問 18 ①あなたの世帯の収入は、何によってまかなわれていますか。最も収入の多いものをお答えください。(○は1つ)

②また、それ以外に収入がある場合、その収入をお答えください。(○はいくつでも)

	①最も収入の多いもの	②それ以外
1. あなたの仕事の収入	1	1
2. 子どもの仕事の収入	2	2
3. その他の家族や同居人の収入	3	3
4. 別居している親や他の家族からの援助	4	4
5. 財産収入（預金利子、不動産収入）	5	5
6. 年金・労災などの収入	6	6
7. 離別した配偶者からの養育費や援助	7	7
8. 児童扶養手当（特別児童扶養手当を含む）	8	8
9. 児童手当	9	9
10. 預金の引出し	10	10
11. 生活保護費	11	11
12. その他（	12	12

※「あなたの世帯」とは、あなたと住居及び生計を共にしている世帯員すべてをいいます。

問19 昨年（平成29年）1年間（平成29年1月1日～12月31日）の収入はどのくらいでしたか。①あなたの世帯全員の総収入及び②世帯の可処分所得、③あなた自身の総収入、並びに④あなた自身の就労収入についてそれぞれお答えください。（〇はそれぞれ1つつ）

※年間総収入には、すべての収入（生活保護法に基づく給付、児童扶養手当等の社会保障給付金、就労収入、別れた配偶者等からの養育費、親からの仕送り、家賃・地代の収入等）を含んでください。

※可処分所得とは、実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入のことです。

	①世帯全員の 総収入	②世帯の 可処分所得	③あなた自身の 総収入	④あなた自身の 就労収入
1. 50万円未満	1	1	1	1
2. 50～100万円未満	2	2	2	2
3. 100～150万円未満	3	3	3	3
4. 150～200万円未満	4	4	4	4
5. 200～250万円未満	5	5	5	5
6. 250～300万円未満	6	6	6	6
7. 300～350万円未満	7	7	7	7
8. 350～400万円未満	8	8	8	8
9. 400～500万円未満	9	9	9	9
10. 500～600万円未満	10	10	10	10
11. 600～700万円未満	11	11	11	11
12. 700～800万円未満	12	12	12	12
13. 800万円以上	13	13	13	13

問20 あなたの世帯の月平均の生活費を記入してください。

約（ ）万円程度

問21 あなたの世帯の生活費の中で、特に支出額の多いものは何ですか。金額の多い順に3つまで記入してください。

1. 食費	2. 住宅費（家賃・ローンを含む）	3. 光熱・水道費
4. 教育費	5. 医療費	6. 交際費
7. 税金・社会保険料	8. ローン（借金）などの返済（住宅ローン除く）	
9. 仕送り	10. 車の維持費	11. その他（ ）

1 位	2 位	3 位



お子さまの子育てや教育についてうかがいます

《離婚された方にうかがいます。それ以外の方は問 26 へお進みください。》

問 22 あなたは、離婚した配偶者との間に「養育費」に関する取り決めをしましたか。(○は 1 つ)

- 1. 文書で取り決めをしている ⇒問 23①へ
- 2. 文書以外で取り決めをしている ⇒問 23①へ
- 3. 取り決めをしていない ⇒問 24 へ

《養育費に関する取り決めをした方にうかがいます。それ以外の方は問 24 へお進みください。》

問 23① 支払いは取り決めどおりに行われていますか。(○は 1 つ)

- 1. 支払われている ⇒問 23②へ
- 2. 支払われたり、支払われなかったりしている ⇒問 23②へ
- 3. 支払われていない ⇒問 24 へ
- 4. 受け取りは終わった ⇒問 24 へ

《問 23①で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 24 へお進みください。》

問 23② 養育費の月額はいくらですか。(○は 1 つ)

また、取り決めによる養育費の月額を記入してください。さらに、その養育費は、何人のお子
さまを対象としたものですか。

- 1. 月額 約 () 円 対象となるお子さまの人数 () 人
- 2. 決まっていない

問 24 あなたは、離婚した配偶者との間に「面会交流」に関する取り決めをしましたか。(○は 1 つ)

- 1. 文書で取り決めをしている ⇒問 25①へ
- 2. 文書以外で取り決めをしている ⇒問 25①へ
- 3. 取り決めをしていない ⇒p. 10 問 26 へ

《面会交流に関する取り決めをした方にうかがいます。それ以外の方は p. 10 問 26 へお進みください。》

問 25① 面会交流の状況についてお答えください。(○は 1 つ)

- 1. 現在、面会交流を行っている ⇒問 25②へ
- 2. 過去に行ったことがあるが、現在は行っていない ⇒問 25②へ
- 3. 面会交流を行ったことがない ⇒p. 10 問 26 へ

《問 25①で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p. 10 問 26 へお進みください。》

問 25② 面会交流の頻度についてお答えください。(○は 1 つ)

- 1. 月 2 回以上
- 2. 月 1 回程度
- 3. 2～3 か月に 1 回
- 4. 4～6 か月に 1 回
- 5. 長期休暇中
- 6. その都度協議して決める
- 7. その他 ()

問 26 ひとり親家庭になった直後のお気持ちはどうでしたか。(○は1つ)

1. すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった
2. すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった
3. 気持ちの整理がつかず困惑し、今後のことは何も考えられなかった
4. なんとかないと深く考えなかった
5. その他 ()
6. わからない

問 27 ひとり親家庭になった直後の生活状況はどうでしたか。(○は1つ)

1. 自立して生活できる状況にあった(自立できる自信があった)
2. 自立して生活できる状況になかったが、周りの人の理解や援助があって生活の目途はすぐに立った
3. 自立して生活できる状況になく、また、周りの人の理解や援助もなかったので、非常に困った
4. その他 ()
5. わからない

問 28 お子さまにはどこまで進学してほしいと思っていますか(お子さまが複数いて、進学希望先が異なる場合はすべてお答えください)。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|--------------|------------|-------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 | 3. 高等専門学校 | 4. 短大 |
| 5. 大学・大学院 | 6. 専修学校・各種学校 | 7. その他 () | |

問 29 お子さまについて現在どのようなことで悩みをお持ちですか。(○はいくつでも)

- | | | | | | |
|---------------|----------------|----------|-------------|-----------|--|
| 1. 今のところ悩みはない | | | | | |
| 2. 育児 | 3. 教育・進学・学習の遅れ | 4. しつけ | 5. 会話が少ない | 6. 預け先がない | |
| 7. 病気 | 8. 衣服・身の回り | 9. 食事・栄養 | 10. 友人関係 | 11. いじめ | |
| 12. 不登校 | 13. 非行化 | 14. 就職 | 15. その他 () | | |

《小学校入学前のお子さまがいらっしゃる方にうかがいます。それ以外の方は問 31 へお進みください。》

問 30 日常、昼間お子さまの世話を中心となっているのはどなたですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|-------------|-----------------|
| 1. あなた自身 | 2. 同居の家族 | 3. 実家や親戚など |
| 4. 近所の人 | 5. 友人や知人 | 6. ベビーシッター・家政婦 |
| 7. 保育園(所)・認定こども園 | 8. 幼稚園 | 9. 勤務先の事業所内保育施設 |
| 10. 認可外保育施設 | 11. その他 () | |

《小学校1年生から3年生までのお子さまがいらっしゃる方にうかがいます。それ以外の方はp.11 問 32 へお進みください。》

問 31 放課後または小学校の長期休暇中、そのお子さまを主にどなたがみていますか。小学校1年生から3年生までのお子さまが複数いて回答が異なる場合は、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------|----------------|---------|
| 1. あなた自身 | 2. 同居の家族 | 3. 実家や親戚など | 4. 近所の人 |
| 5. 友人や知人 | 6. ベビーシッター・家政婦 | 7. 認可外保育施設 | |
| 8. 学童クラブ・放課後ほっと広場(ゆうゆうクラブ) | 9. 児童館(8以外での利用) | | |
| 10. 学習塾・習い事 | 11. その他 () | 12. 見てくれる人はいない | |

《小学校4年生から6年生までのお子さまがいらっしゃる方にうかがいます。それ以外の方は問33へお進みください。》

問32 放課後または小学校長期休暇中、そのお子さまを主にどなたがみていますか。小学校4年生から6年生までのお子さまが複数いて回答が異なる場合は、それぞれをお答えください。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------|----------------|---------|
| 1. あなた自身 | 2. 同居の家族 | 3. 実家や親戚など | 4. 近所の人 |
| 5. 友人や知人 | 6. ベビーシッター・家政婦 | 7. 認可外保育施設 | |
| 8. 学童クラブ・放課後ほっと広場(ゆうゆうクラブ) | 9. 児童館(8以外での利用) | | |
| 10. 学習塾・習い事 | 11. その他() | 12. 見てくれる人はいない | |

《小学校1年生から高校3年生までのお子さまがいらっしゃる方にうかがいます。それ以外の方はp.12問36へお進みください。》

問33 お子さまを学習塾や習い事に通わせていますか。通わせていない方はその理由についても①～④からお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|---|--------|
| 1. 通わせている | ⇒問34へ |
| 2. 通わせていない | ⇒問35①へ |
| 【①必要がない ②時間の確保が困難 ③経済的に困難 ④その他()】 | |

問34 学習塾や習い事に通わせている方だけにお聞きします。どのようなところに通わせていますか。また、1か月の月謝はどのくらいですか。お子さまごとにお答えください。

- | | | |
|-----------|----------------|------------|
| 1. 学習塾 | 2. そろばん教室・習字教室 | 3. 音楽・絵画教室 |
| 4. スポーツ教室 | 5. 英会話 | 6. その他() |

	お子さまの生年月	番号(複数記入可)	月謝の額(合計)
1	平成 年 月 生		() 円
2	平成 年 月 生		() 円
3	平成 年 月 生		() 円
4	平成 年 月 生		() 円

《京都市が実施しているひとり親の子ども等に対する学習支援についてうかがいます。》

同事業は、家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱える被保護世帯、経済的困窮等により支援を必要とするひとり親家庭及び自立相談支援機関が支援する生活困窮世帯の子どもに対して無料で実施される学習会です。

問35① 京都市において、ひとり親の子ども等に対する学習支援が実施されていることはご存知ですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|----------|--------|---------|------------|
| 1. 知っている | ⇒問35②へ | 2. 知らない | ⇒p.12問35③へ |
|----------|--------|---------|------------|

《問35①で「1. 知っている」と答えた方にうかがいます。それ以外の方はp.12問35③へお進みください。》

問35② 京都市が実施しているひとり親の子ども等に対する学習支援を利用したことはありますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 利用したことがある | ⇒p.12問36へ |
| 2. 利用したことがない | ⇒p.12問35③へ |

《問35②で「2. 利用したことがない」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問36へお進みください。》

問35③ 京都市が実施しているひとり親の子ども等に対する学習支援を利用してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 思う ⇒問36へ
2. 思わない ⇒問35④へ

《問35③で「2. 思わない」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問36へお進みください。》

問35④ 利用してみたいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 学力に不安がない 2. 部活動が忙しい 3. 学習塾や習い事に通っている
4. 家族の家事等で忙しい 5. 子どもが希望しない 6. その他()

《以下の問36～40の質問については、お子さまが複数いる場合は、最も適当と思われる箇所1つに○をつけてください。》

問36 お子さまの学校での成績についてお答えください。(○は1つ)

1. 成績良好 2. まあまあ良好 3. 普通
4. やや遅れている 5. かなり遅れている 6. わからない

問37 お子さまについて、学校の授業以外で、過去1年間に、自宅以外での文化芸術活動(映画、音楽、絵画、写真、演劇、能・狂言・歌舞伎などの鑑賞、体験など)や自然体験(山登り、海水浴、川遊び、キャンプなど)、スポーツ活動を行う機会の程度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	週1回以上	月1回以上	年数回以上	年1回程度	まったくない	わからない
① 文化芸術活動	1	2	3	4	5	6
② 自然体験	1	2	3	4	5	6
③ スポーツ活動	1	2	3	4	5	6

問38① あなたは、お子さまに対し、宿題を見るなど、勉強を教えることがありますか。(○は1つ)

1. よくある 2. ときどきある
3. あまりない ⇒問38②へ 4. ない ⇒問38②へ

《問38①で「3」または「4」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問39へお進みください。》

問38② 勉強を教えることがない理由は何ですか。(○は1つ)

1. 仕事や家事等が忙しく時間がないから 2. 教え方がわからないから
3. 学習内容がよくわからないから 4. 子どもが自分自身で考えないといけなから
5. 子どもが自分の力だけでやりたがっているから 6. 興味がないから、面倒だから
7. その他() 8. 特に理由はない

問39 お子さまの様子について、それぞれお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	できる	どちらかという ことができる	どちらかという できない	できない	わからない
① 将来の明るい希望を話すことができる	1	2	3	4	5
② 自信を持って、行動したり人と関わりあうことができる	1	2	3	4	5
③ 目標に向かって努力することができる	1	2	3	4	5

問 40① お子さまは朝食・夕食を 1 週間に何日程度食べていますか。(○はそれぞれ 1 つずつ)

	ほぼ毎日	週に 4～5 日	週に 2～3 日	ほとんど食べない	わからない
① 朝食	1	2	3	4	5
② 夕食	1	2	3	4	5

問 40② お子さまは、朝食・夕食を誰と食べていることが多いですか。(○はそれぞれいくつでも)

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい (兄弟姉妹)	本人(お子 さま)のみ	その他 ()	わからない
① 朝食	1	2	3	4	5	6	7	8
② 夕食	1	2	3	4	5	6	7	8

《小学校 6 年生までのお子さまがいらっしゃる方にうかがいます。それ以外の方は問 42①へお進みください。》

問 41 あなたは、お子さまと遊ぶ(外出、からだを動かして遊ぶ、トランプ・ごっこ遊びなど全般)機
会は、どの程度ありますか。(○は 1 つ)

1. ほぼ毎日	2. 週に 3～4 日	3. 週に 1～2 日
4. 月に 1～2 日	5. めったにない	

《高校 3 年生までのお子さまがいらっしゃる方にうかがいます。それ以外の方は問 43①へお進みください。》

問 42① あなたのご家庭では、お子さまの夕食をつくる(料理する)ことがどの程度ありますか。(○は 1 つ)

1. ほとんど毎日	2. 週に 4～5 日程度	3. 週に 2～3 日程度
4. 月に数日(休日など) →問 42②へ	5. ほとんどつくらない →問 42②へ	

《問 42①で「4」または「5」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 43①へお進みください。》

→問 42② お子さまの食事で最も多いものについてお答えください。(○は 1 つ)

1. 外食	2. スーパーやコンビニ等で購入する惣菜、弁当	
3. インスタント・レトルト食品	4. お菓子	5. 親戚、知人がつくった料理
6. わからない	7. その他（	）

問 43① 日々の生活において、子育てにかけける時間は優先すべきだと思いますか。(○は 1 つ)

1. 最も優先すべき	2. できるなら優先すべき	3. 他に優先すべきことがある	4. わからない
------------	---------------	-----------------	----------

問 43② 日々の生活において、子育てにかけけるお金は優先すべきだと思いますか。(○は 1 つ)

1. 最も優先すべき	2. できるなら優先すべき	3. 他に優先すべきことがある	4. わからない
------------	---------------	-----------------	----------

問 44 家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さまをみてもらったりすることのできる人はどなたで
すか。(○はいくつでも)

1. 近所の人	2. 職場・仕事に関係のある人
3. 学生時代の友人	
4. お子さまを通じての友人(保育園(所)などの保護者会やスポーツ少年団など)	
5. あなたの趣味やスポーツなどを通じた活動の仲間	6. あなたの社会的活動を通じた活動の仲間
7. その他()	8. 特にいない

日頃の悩みや相談のことについてうかがいます

問 45 あなたが、ひとり親家庭になった当時、困ったことは何ですか。また、現在困っていることがありますか。(〇はそれぞれいくつでも)

	①当 時	②現 在
1. 子どもの養育・教育	1	1
2. 家事	2	2
3. 就職や仕事	3	3
4. 住居	4	4
5. 病気や医療	5	5
6. 相談相手がないこと	6	6
7. 勤務先や近所との付き合い	7	7
8. 家族や親戚との付き合い	8	8
9. 異性との付き合い・再婚のこと	9	9
10. 老後のこと	10	10
11. 経済的なこと	11	11
12. ひとり親家庭に対する差別や偏見	12	12
13. その他 ()	13	13
14. 困っていることはない	14	14

問 46 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、どなたに相談しましたか。また、現在どなたに相談しますか。(〇はそれぞれいくつでも)

	①当 時	②現 在
1. 自分で解決	1	1
2. 自分の子どもに相談	2	2
3. 両親・親戚などに相談	3	3
4. 友人・知人に相談	4	4
5. 近所の人に相談	5	5
6. 民生委員・児童委員に相談	6	6
7. 職場の上司・同僚に相談	7	7
8. 公的な機関に相談	8	8
9. 前の配偶者に相談	9	9
10. その他 ()	10	10
11. 相談相手がない、方法がわからない	11	11

問 47 あなたが、これまで悩みごとなどを相談したことがある公の機関等はどれですか。(〇はいくつでも)

1. 民生・児童委員・主任児童委員	2. 市政協力委員や町内会長など
3. 市議員・府議会議員	4. 保健福祉センター子どもはぐくみ室
5. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）	6. 京都市ひとり親家庭支援センター（ゆめあす）
7. 市民相談・区民相談	8. 京都市男女共同参画センター（ウイングス京都）
9. 京都府男女共同参画センター（らら京都）	10. 公共職業安定所（ハローワーク）
11. マザーズハローワーク烏丸御池	12. マザーズジョブカフェ（京都テルサ内）
13. 交通事故相談所	14. 家庭裁判所
15. 警察署	16. 保育園（所）・認定こども園・幼稚園
17. 児童館	18. 学校
19. 弁護士会の法律相談センター	20. 日本司法支援センター（法テラス）
21. その他（	）

現在行われている福祉施策等についてうかがいます

問 48 あなたが知っている、または利用したことのある制度・施策についてお答えください。(〇はそれぞれいくつでも)

① ひとり親家庭支援施策

施策	内容	知っている	利用している・ 利用したことがある
1. 児童扶養手当	18 歳に達して以後、最初の 3 月 31 日までの子ども のいるひとり親家庭に支給される手当	1	1
2. 母子父子寡婦福祉資金 貸付制度	ひとり親家庭等の方に対する各種資金の貸し付けを 行う制度	2	2
3. 母子生活支援施設（野菊荘、本 願寺ウィスタリアガーデン、東山 ファミリーホーム、ヴェインテ）	母子家庭の母と 18 歳未満の子と一緒に入所できる 児童福祉施設	3	3
4. ひとり親家庭等医療費 支給制度	ひとり親家庭等の親と子がお医者さんなどにかかっ たときに、窓口で支払われる医療費を助成する制度	4	4
5. ひとり親家庭等 日常生活支援事業	ひとり親家庭等の方が、自立促進のために必要な事 由や傷病や冠婚葬祭など主に一時的に家事・育児に お困りの場合に家庭生活支援員を派遣する事業	5	5
6. 公営住宅の優先入居	住宅に困っているひとり親家庭の方が公営住宅に優 先的に入居できる制度	6	6
7. 自立支援教育訓練 給付金事業	厚生労働大臣指定講座等を受講し、修了した場合に 支払った入学金及び受講料の最大 6 割に相当する額 が支給される事業	7	7
8. 高等職業訓練促進 給付金等事業	1 年以上のカリキュラムを必要とする看護師等の対 象資格を取得のため、専門学校等で修学している場 合に、修業期間中に訓練促進費を支給する事業	8	8
9. ひとり親家庭高等職業 訓練促進資金	高等職業訓練促進給付金を受給し、将来取得した資格が 必要な業務に従事しようとする方に対し、養成機関の入学時 及び養成機関の課程を修了し資格を取得した時に、貸し付 けを行う制度	9	9
10. ひとり親家庭高等学校卒業 程度認定試験合格支援事 業	高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講する ひとり親家庭の親または児童に対し、支払った入学金及び 受講料の最大 6 割に相当する額が支給される事業	10	10
11. 生活保護世帯等生活困窮世帯 の子どもに対する学習支援	家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱える被保護世帯、 経済的困窮等により支援を必要とするひとり親家庭等の 子どもに対して無料の学習会を実施する事業	11	11

② その他福祉施策

		知っている	利用している・ 利用したことがある
手当・助成	1. 入院助産制度	1	1
	2. 出産育児一時金	2	2
	3. 子ども医療費支給制度	3	3
	4. 児童手当	4	4
	5. 京都市高校進学・修学支援金	5	5
子育て支援	6. スマイルママ・ホッと事業	6	6
	7. 育児支援ヘルパー派遣事業	7	7
	8. 産前産後ヘルパー派遣事業	8	8
子どもを預ける	9. 保育園・認定こども園	9	9
	10. ファミリーサポート事業	10	10
	11. 学童クラブ事業（児童館）	11	11
	12. ショートステイ	12	12
	13. トワイライトステイ	13	13
障害のある子どもへの支援	14. 特別児童扶養手当	14	14
	15. 障害児福祉手当	15	15
	16. 重度心身障害者医療費支給制度	16	16
	17. 自立支援医療	17	17
	18. 放課後等デイサービス事業	18	18
その他	19. 生活保護	19	19
	20. 職業訓練手当支給制度	20	20

《京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすについてうかがいます。》

京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすは、京都市が、ひとり親家庭の相談や交流をはじめ、自立に向けた支援事業に総合的に取り組む拠点として設置している施設です。

問 49① 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすを知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------



問 49② 下表の 1 から 12 の京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすの事業を知っていたり、これまでに利用したことがありますか。また興味がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも)

	知っている	これまでに利用 したことがある	興味がある
1. 就業の相談	1	1	1
2. 仕事に役立つセミナー（就職準備セミナー）	2	2	2
3. 自立支援プログラム ハローワークと連携しつつ、自立支援計画に沿った自立、就職支援を行う。	3	3	3
4. パソコン講習会	4	4	4
5. パソコン自習支援 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすのパソコンを使用して、自習等を行う。	5	5	5
6. 養育費・子どもとの面会交流などの相談	6	6	6
7. 「6」以外の無料法律相談	7	7	7
8. 日常生活の相談	8	8	8
9. 親と子の交流会（バーベキュー等）	9	9	9
10. 生活に役立つセミナー （育児、クッキング、健康づくりに関する講習等）	10	10	10
11. mama*cafe（お母さんの交流会）	11	11	11
12. 着物の貸出し	12	12	12

問 49③ 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすでのひとり親家庭の方のみを対象としたイベントや、参加者同士での情報交換や意見交換ができる場に参加したいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 参加したい | 2. 母子（父子）家庭だけが対象なら参加したい |
| 3. 参加したくない ⇒問 49④へ | 4. わからない ⇒問 49④へ |

「問 49③で「3」または「4」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p. 18 問 50 へお進みください。」

問 49④ 参加したくない、わからない理由についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. 参加する時間がない | 2. 参加する必要性を感じない |
| 3. 参加するのが面倒 | 4. 自分の家庭の事情を他人に知られたくない |
| 5. 場所が遠い | 6. その他（ ） |

行政施策等についてうかがいます

問 50 下記の 1～11 について、あなたの実感に近いお考えをお答えください。(○はそれぞれ 1 つずつ)

	そう思う	どちらか と言うと そう思う	どちらとも 言えない	どちらか 言うとな 思わない	そう思わ ない
1. 乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	1	2	3	4	5
2. 身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる	1	2	3	4	5
3. 必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	1	2	3	4	5
4. 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）の時に、必要な支援を受けられる環境である	1	2	3	4	5
5. 障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行われている	1	2	3	4	5
6. 子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5
7. 子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがある	1	2	3	4	5
8. 子どもへの教育環境は充実している	1	2	3	4	5
9. 青少年が健全に育つ環境である	1	2	3	4	5
10. 身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	1	2	3	4	5
11. 世間には、ひとり親家庭に対する偏見があると思う	1	2	3	4	5

問 51 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することは何ですか。(○はいくつでも)

1. 身近な問題についての親同士での相談や話し合い 2. 地域が実施する子ども向けの活動（地蔵盆や通学路の見守り活動等）を通じて、地域の大人が子どもに関わり合うこと 3. 子どもや保護者が集える場所づくり 4. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション 5. 急用や緊急時に、子どもを預けあえること 6. 子どもの危険な行為やいたづらを注意しあえること 7. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと 8. その他（ 9. 期待することは特にない	
--	---

問 52 ひとり親家庭の自立・安定を図るため、あなたが市や国に最も要望したいことは何ですか。(○は1つ)

1. 職業訓練の場や働く機会を増やすなど安定的な就業の支援を充実する
2. 市営住宅などの公営住宅を増やすなど居住の確保がしやすい環境を整備する
3. 健康診断や保健相談・指導を充実する
4. 医療や介護サービスを充実する
5. 保育園(所)を整備する
6. 学童保育の場を増やす
7. 生活上の悩みの相談窓口を充実する
8. 学習や教養などを身につける機会を増やす
9. スポーツやレクリエーションに参加できる機会を増やす
10. いろいろな施設や制度のPRを充実する
11. 民間ボランティアや社会福祉団体を育成する
12. ひとり親家庭に対する偏見のない世の中をつくる
13. 年金・手当など経済的支援を充実する
14. 子どもの居場所づくりや学習支援
15. 養育費確保のためのアドバイス
16. その他 ()



問 53 問 52 で○を付けた選択肢について、特に望むことやご意見がありましたらお聞かせください。

問 54 ひとり親家庭ということで、「苦しい時やつらい時を乗り越える、気持ちを切り替えるための手段等」がありましたら、お聞かせください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました！
同封の封筒に入れ、切手は貼らずに9月●日(●)までにご投函ください。

京都市ひとり親家庭に関する実態調査（案）

調査へのご協力をお願い

平素は、市政の推進にご協力をいただき、ありがとうございます。

京都市では、本市にお住まいのひとり親家庭の皆様の福祉施策の充実を図ることを目的として、「京都市ひとり親家庭に関する実態調査」を実施いたします。この調査は、平成25年に引き続き実施するものです。

今回、住民基本台帳から対象者を無作為に抽出し、この調査票をお送りしております。

本調査は、無記名方式で実施し、回収した調査票は、すべて統計的に処理しますので、回答いただくことによって、あなたにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

調査結果は、京都市の「ひとり親家庭自立促進計画」を含む「京都市未来こどもプラン」の次期計画を策定するための基礎資料として十分に活用してまいります。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 年 月

京都市長 門川 大作

【ご記入に当たってのお願い】

- 1 この調査は、宛名ご本人がご回答ください。
- 2 この調査は、ひとり親家庭の皆様を対象としています。ひとり親家庭の方は最後の質問までご回答ください。
- 3 回答は「年月」や人数など、数字を記入するものと、該当する項目の選択肢番号に○印をつけるものがあります。回答がひとつのみ選択の場合や複数選択の場合がありますので、設問指示にしたがってお答えください。
- 4 「その他」にお答えのときは、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 5 年齢、家族構成など期日が関係する設問には 月 日現在でご回答ください。
- 6 ご記入後は、平成 年 月 日（ ）までに同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

※ この調査票は、設定した条件に当てはまる方を機械処理により無作為に抽出してお送りしており、その抽出の仕組み上、ひとり親家庭ではないご家庭が対象とされている場合があります。そのような場合は、問1のみをご回答(問2以降は未記入のまま)のうえ、調査票をご返送ください。

【調査に関する問合せ先】京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部子ども家庭支援課
ひとり親家庭に関する実態調査担当
電話 075-746-7625 FAX 075-251-1133

問1 あなたのご家庭は「母子家庭」又は「父子家庭」に該当しますか。下欄の説明を参考にして、当てはまるものに○をつけてください。

1. 母子家庭	2. 父子家庭	3. 該当しない
---------	---------	----------

※母子家庭又は父子家庭について

母子家庭又は父子家庭とは、現に配偶者がなく、20歳未満の子どもを育てている家庭をいいます。
 ・死別、離婚、未婚など、現に配偶者のない方
 ・配偶者の生死不明、家出などで、配偶者に遺棄されている方
 などが該当します。

ただし、婚姻はしていないが、事実上の婚姻関係にある場合は「母子家庭」又は「父子家庭」とはしません。また、単身赴任、出稼ぎ、子どもの就学の都合などによる一時別居も「母子家庭」又は「父子家庭」とはしません。

※母子家庭又は父子家庭（以下「ひとり親家庭」という。）でない方は、これで調査は終わりです。調査票は返信用封筒でご返送ください。

ひとり親家庭の方は、引き続き下の欄の問2から最後の質問までご回答ください。

ここからの質問は、ひとり親家庭の方のみお答えください。

■あなたご自身のことと世帯の状況についてお聞きます。

問2 あなたの生年月を記入してください。

1. 昭和	() 年	() 月	生
2. 平成	() 年	() 月	生

問3 あなたのお子さん（平成 年 月 日現在で20歳未満のお子さんに限ります。）は、次のいずれに当てはまりますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、右の欄に同居、別居別の人数を記入してください。

	同居	別居
1. 乳児（0歳児）	人	人
2. 1歳～2歳児	人	人
3. 3歳～小学校入学前	人	人
4. 小学校1年～3年生	人	人
5. 小学校4年～6年生	人	人
6. 中学生	人	人
7. 高校生	人	人
8. 短大生・高専生	人	人
9. 大学生	人	人
10. 専門学校生・その他の学生	人	人
11. 仕事をしている子ども	人	人
12. 卒業した無職の子ども	人	人
13. その他（ ）	人	人

問4 世帯の人数（ご自分や問3に記入したお子さんは除く。）を記入してください。

あなたの父母	あなたの兄弟姉妹	あなたの祖父母	20歳以上の子ども	その他
()人	()人	()人	()人	()人

■あなたのご家庭の家事の分担状況についてお聞きします。

問5 あなたのご家庭では、以下の家事は主にどなたが担当していますか。当てはまるすべての欄に○を記入してください。

	掃除	洗濯	炊事	日用品の買物
あなた				
子ども				
その他の家族				
家族以外				

■ひとり親家庭になったときの状況についてお聞きします。

問6 ひとり親家庭になった時期について、年月を記入してください。

平成()年()月

（注）配偶者と2回以上離婚又は死別している場合は、もっとも近い場合について記入してください（以下の質問についても同じ）。

問7 前配偶者との婚姻期間について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年未満 |
| 3. 5～10年未満 | 4. 10年以上 |
| 5. なし | |

問8（1）ひとり親家庭となった理由について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 病死 | 2. その他の理由による死別 |
| 3. 離婚（協議） | 4. 離婚（調停） |
| 5. 離婚（審判） | 6. 離婚（裁判） |
| 7. 遺棄（家出など） | 8. 生死不明 |
| 9. 未婚での子の出生 | 10. その他（ ） |

（2）離婚（3，4，5，6）を選択した方にお聞きします。離婚を決意した主たる要因は何ですか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 性格が合わない | 2. 異性関係 |
| 3. 暴力をふるう | 4. 浪費する |
| 5. 酒を飲みすぎる | 6. 親族と折り合いが悪い |
| 7. 家庭をかえりみない | 8. その他（ ） |

問9 ひとり親家庭になられたとき、あなたは仕事をしていましたか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|---|--------|
| 1. 今と同じところで仕事をしていた | → | 【問11へ】 |
| 2. 今と違ったところで仕事をしていた | → | 【問10へ】 |
| 3. 仕事をしていなかった | → | 【問11へ】 |

問10 その時していた仕事を辞めた理由について、当てはまる番号1つだけに○を付けてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 収入がよくない | 2. 勤め先が自宅から遠い |
| 3. 健康がすぐれない | 4. 仕事の内容がよくない |
| 5. 職場環境になじめない | 6. 労働時間が合わない |
| 7. 社会保険がない又は不十分 | 8. 休みが少ない・自由にとれない |
| 9. 身分が安定していない | 10. 経験や能力が発揮できない |
| 11. 自営業で就業していたが、離婚したため | 12. 子どもの世話・家事等との両立が困難 |
| 13. その他（ | ） |

■あなたの現在の仕事についてお聞きします。

問11 あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|---|---------|
| 1. 1つの仕事だけしている | → | 【問12へ】 |
| 2. 2つ以上の仕事をしている | → | 【問12へ】 |
| 3. 仕事をしていない | → | 【5ページへ】 |

問12 収入を伴う仕事のある方だけにお聞きします。

（1）あなたが現在の仕事についてから何年になりますか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～3年未満 |
| 3. 3～5年未満 | 4. 5～10年未満 |
| 5. 10年以上 | |

（注）2つ以上の仕事をされている場合は、主な仕事（収入、就労時間により判断してください）について記入してください。

（2）あなたの就労形態について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 契約・登録・派遣社員（職員） | 4. 自営業主 |
| 5. 家族従業者 | 6. 内職・在宅就業 |
| 7. その他（ | ） |

（3）その仕事の種類について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 専門技術を生かした仕事（保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど） | |
| 2. 管理的な仕事（会社・官庁などの課長職以上） | |
| 3. 事務的な仕事 | |
| 4. 販売関係の仕事（店員、商品配達、セールス、外交員など） | |
| 5. 接客などのサービス関係の仕事（美・理容師、飲食店員、家政婦など） | |
| 6. 技能及び労務関係の仕事（工員、職人、労務作業員など） | |
| 7. その他（ | ） |

(4) 勤務先（自営業の方は家族従業員を含む）の規模（従業員数）について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

1. 1～4人	2. 5～9人	3. 10～29人
4. 30～99人	5. 100～299人	6. 300人以上

(5) あなたの普段の平均的な勤務時間（残業が恒常的になっている方はその時間も含む）はどのようになっていますか。また、仕事が終わって帰宅するのは何時ごろですか。午前・午後のいずれかに○をしたうえで（ ）内に具体的な時刻を記入してください。

ア 勤務時間

1. 定時制
午前・午後（ ）時（ ）分～ 午前・午後（ ）時（ ）分まで

2. 交代制のため一定しない

イ 帰宅時間（定時制の方のみ記入してください。）
午前・午後（ ）時（ ）分ごろ

(6) あなたの仕事上の悩みについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 収入がよくない	2. 勤め先が自宅から遠い	3. 健康がすぐれない
4. 仕事の内容がよくない	5. 職場環境になじめない	6. 労働時間が合わない
7. 社会保険がない又は不十分	8. 休みが少ない・自由にとれない	
9. 身分が安定していない	10. 経験や能力が発揮できない	
11. 子どもの世話・家事等との両立が困難		
12. その他（ ）		

(7) 現在、あなたは転職の希望をもっていますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. ある	→	【(8)へ】
2. ない	→	【6ページへ】

(8) 転職の希望がある方だけにお聞きます。

ア 転職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

1. 正社員・正職員	2. パート・アルバイト
3. 契約・登録・派遣社員（職員）	4. 自営業主
5. 家族従業者	6. 内職・在宅就業
7. その他（ ）	

イ 転職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

1. 専門技術を生かした仕事（保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど）
2. 管理的な仕事（会社・官庁などの課長職以上）
3. 事務的な仕事
4. 販売関係の仕事（店員、商品配達、セールス、外交員など）
5. 接客などのサービス関係の仕事（美・理容師、飲食店員、家政婦など）
6. 技能及び労務関係の仕事（工員、職人、労務作業員など）
7. その他（ ）

問 13 **現在、収入を伴う仕事がない方だけにお聞きします。**

(1) その理由は何ですか。当てはまる番号 1 つだけに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 子どもの世話をしてくれる人がいない | 2. 病気で働けない |
| 3. 求職中 | 4. 職業訓練を受けたり技術習得中 |
| 5. 家族の世話をするため仕事につけない | 6. 収入面で条件の合う仕事がない |
| 7. 勤務時間の面で条件の合う仕事がない | 8. 年齢的に条件の合う仕事がない |
| 9. その他 (|) |

(2) あなたは今後、就職の希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------|---|----------|
| 1. ある | → | 【(3)へ】 |
| 2. ない | → | 【問 14 へ】 |

(3) 就職の希望がある方だけにお聞きします。

ア 就職する場合、あなたは、どのような就労形態で働きたいと考えていますか。当てはまる番号 1 つだけに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 契約・登録・派遣社員（職員） | 4. 自営業主 |
| 5. 家族従業者 | 6. 内職・在宅就業 |
| 7. その他 (|) |

イ 就職する場合、あなたは、どのような種類の仕事につきたいと考えていますか。当てはまる番号 1 つだけに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 専門技術を生かした仕事（保育士、教員、看護師、介護福祉士、弁護士、医師、デザイナーなど） | |
| 2. 管理的な仕事（会社・官庁などの課長職以上） | |
| 3. 事務的な仕事 | |
| 4. 販売関係の仕事（店員、商品配達、セールス、外交員など） | |
| 5. 接客などのサービス関係の仕事（美・理容師、飲食店員、家政婦など） | |
| 6. 技能及び労務関係の仕事（工員、職人、労務作業員など） | |
| 7. その他 (|) |

■あなたがお持ちの資格や技能についてお聞きます。

問 14 現在持っている資格など(当てはまるものすべて)と、今後とりたいと思っている資格など（主なもの3つまで）がありますか。当てはまる欄に○を記入してください。

	持っている 資格など	持っている資格の うち仕事（就職）に 役立っている資格	とりたい 資格など
1. 看護師・保健師			
2. 栄養士			
3. 調理師			
4. 製菓衛生師			
5. 美容師・理容師			
6. 弁護士・司法書士・行政書士			
7. 保育士			
8. 教諭			
9. パソコン			
10. 簿記・速記			
11. ホームヘルパー			
12. 介護福祉士			
13. 医療事務			
14. 歯科衛生士・歯科技工士			
15. 理学療法士			
16. 作業療法士			
17. 大型・第二種自動車免許			
18. 言語聴覚士			
19. 柔道整復師			
20. 鍼灸師			
21. 臨床工学技士			
22. 視能訓練士			
23. 管理栄養士			
24. 精神保健福祉士			
25. 臨床検査技師			
26. 放射線技師			
27. その他	()	()	()
28. 特にない			

■現在のお住まいについてお聞きます。

問 15 お住まいになっている住宅の種類について、当てはまる番号 1 つだけに○をつけてください。

1. 持ち家（本人名義）	2. 公営住宅（府・市営）	3. 公社・公団住宅
4. 社宅	5. 賃貸住宅	6. 間借り
7. 実家や親戚の家に同居	8. 母子生活支援施設（母子寮）	
9. その他（		）

問 16 現在の住宅に住まれるようになったのは、ひとり親家庭になる前からですか。それともひとり親家庭になってからですか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. ひとり親家庭になる前から
2. ひとり親家庭になってから

問 17 公営住宅（府・市営）への転居の希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

■あなたの世帯の収入状況・生活費についてお聞きます。

問 18 あなたの世帯の収入は、何によってまかなわれていますか。最も収入の多いもの 1 つだけに○をつけてください。また、それ以外に収入のある場合、当てはまるものすべてに○をつけてください。

	最も収入の 多いもの （ひとつだけに○）	それ以外 （当てはまるものす べてに○）
1. あなたの仕事の収入		
2. 子どもの仕事の収入		
3. その他の家族や同居人の収入		
4. 別居している親や他の家族からの援助		
5. 財産収入（預金利子、不動産収入）		
6. 年金・労災などの収入		
7. 離別した配偶者からの養育費や援助		
8. 児童扶養手当（特別児童扶養手当を含む）		
9. 児童手当		
10. 預金の引出し		
11. 生活保護費		
12. その他（	）	

（注）「あなたの世帯」とは、あなたと住居及び生計を共にしている世帯員すべてをいいます。

問 19 昨年（平成 29 年）1 年間の収入はどのくらいでしたか。あなたの世帯全員及びあなた自身の総収入，並びにあなた自身の就労収入について，それぞれ当てはまるもの 1 つだけに○をつけてください。

（※ 年間総収入には，すべての収入（生活保護法に基づく給付，児童扶養手当等の社会保障給付金，就労収入，別れた配偶者等からの養育費，親からの仕送り，家賃・地代の収入等）を含んでください。）

（※ 可処分所得とは，実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入のことです。）

	世帯全員の 総収入	世帯の 可処分所得	あなた自身の 総収入	あなた自身の 就労収入
1. 50 万円未満				
2. 50～100 万円未満				
3. 100～150 万円未満				
4. 150～200 万円未満				
5. 200～250 万円未満				
6. 250～300 万円未満				
7. 300～350 万円未満				
8. 350～400 万円未満				
9. 400～500 万円未満				
10. 500～600 万円未満				
11. 600～700 万円未満				
12. 700～800 万円未満				
13. 800 万円以上				

問 20 あなたの世帯の月平均の生活費を記入してください。

約（ ）万円程度

問 21 あなたの世帯の生活費の中で，特に支出額の多いものは何ですか。金額の多い順に 3 つまで選んでください。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1. 食費 | 2. 住宅費（家賃・ローンを含む） |
| 3. 光熱・水道費 | 4. 教育費 |
| 5. 医療費 | 6. 交際費 |
| 7. 税金・社会保険料 | 8. ローン（借金）などの返済（住宅ローン除く） |
| 9. 仕送り | 10. 車の維持費 |
| 11. その他（ ） | 12. 特にかさむものはない |

1 位	2 位	3 位

■離婚された方だけにお聞きます。

問 22 あなたは、離婚した配偶者との間に「養育費」に関する取り決めをしましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---|----------|
| 1. 文書で取り決めをしている | → | 【問 23 へ】 |
| 2. 文書以外で取り決めをしている | → | 【問 23 へ】 |
| 3. 取り決めをしていない | → | 【問 24 へ】 |

問 23 養育費に関する取り決めをした方だけにお聞きます。

(1) 支払いは取り決めどおりに行われていますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|---|----------|
| 1. 支払われている | → | 【(2) へ】 |
| 2. 支払われたり、支払われなかったりしている | → | 【(2) へ】 |
| 3. 支払われていない | → | 【問 24 へ】 |
| 4. 受け取りは終わった | → | 【問 24 へ】 |

(2) 取り決めによる養育費の月額を記入してください。また、その養育費は、何人のお子さんを対象としたものですか。

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 月額 約 () 円 | 対象となるお子さんの人数 () 人 |
| 2. 決まっていない | |

問 24 あなたは、離婚した配偶者との間に「面会交流」に関する取り決めをしましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---|----------|
| 1. 文書で取り決めをしている | → | 【問 25 へ】 |
| 2. 文書以外で取り決めをしている | → | 【問 25 へ】 |
| 3. 取り決めをしていない | → | 【問 26 へ】 |

問 25 面会交流に関する取り決めをした方だけにお聞きます。

(1) 面会交流の状況について、当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|---|----------|
| 1. 現在、面会交流を行っている | → | 【(2) へ】 |
| 2. 過去に行ったことがあるが、現在は行っていない | → | 【(2) へ】 |
| 3. 面会交流を行ったことがない | → | 【問 26 へ】 |

(2) 面会交流の頻度のうち、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------|----------------|
| 1. 月 2 回以上 | 2. 月 1 回程度 | 3. 2～3 箇月に 1 回 |
| 4. 4～6 箇月に 1 回 | 5. 長期休暇中 | 6. その都度協議して決める |
| 7. その他 () | | |

問 26 ひとり親家庭になった直後のお気持ちはどうでしたか。当てはまる番号 1 つだけに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったし、不安もなかった |
| 2. すでに気持ちの整理がついていたので困惑しなかったが、今後のことを考えると不安な気持ちになった |
| 3. 気持ちの整理がつかず困惑し、今後のことは何も考えられなかった |
| 4. なんとかなると深く考えなかった |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

■小学校1年生から3年生までのお子さんがおられる方にお聞きます。

問31 放課後、又は小学校長期休暇中、そのお子さんを主にどなたがみていますか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。(小学校1年生から3年生までのお子さんが複数いて回答が異なる場合は、それぞれに○をつけてください。)

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1. あなた自身 | 2. 同居の家族 |
| 3. 実家や親戚など | 4. 近所の人 |
| 5. 友人や知人 | 6. ベビーシッター・家政婦 |
| 7. 認可外保育施設 | 8. 学童クラブ・放課後ほっと広場(ゆうゆうクラブ) |
| 9. 児童館(8以外での利用) | 10. 学習塾・習い事 |
| 11. その他() | |

■小学校4年生から6年生までのお子さんがおられる方にお聞きます。

問32 放課後、又は小学校長期休暇中、そのお子さんを主にどなたがみていますか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。(小学校4年生から6年生までのお子さんが複数いて回答が異なる場合は、それぞれに○をつけてください。)

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1. あなた自身 | 2. 同居の家族 |
| 3. 実家や親戚など | 4. 近所の人 |
| 5. 友人や知人 | 6. ベビーシッター・家政婦 |
| 7. 認可外保育施設 | 8. 学童クラブ・放課後ほっと広場(ゆうゆうクラブ) |
| 9. 児童館(8以外での利用) | 10. 学習塾・習い事 |
| 11. その他() | |

■小学校1年生から高校3年生までのお子さんがおられる方にお聞きます。

問33 お子さんを学習塾や習い事に通わせていますか。当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

1. 通わせている → 【問34へ】
 通わせていない(2. 必要がない 3. 時間の確保が困難 4. 経済的に困難) → 【問35へ】

問34 学習塾や習い事に通わせている方だけにお聞きます。どのようなところに通わせていますか。また、1箇月の月謝はどのくらいですか。お子さんごとに生年月を記入してお答えください。

- | | | |
|-----------|----------------|------------|
| 1. 学習塾 | 2. そろばん教室・習字教室 | 3. 音楽・絵画教室 |
| 4. スポーツ教室 | 5. 英会話 | 6. その他() |

	生年月			番号(複数可)	月謝の額(合計)
1	平成	年	月 生		()円
2	平成	年	月 生		()円
3	平成	年	月 生		()円
4	平成	年	月 生		()円

問 35 「生活保護世帯等生活困窮世帯の子どもに対する学習支援」についてお聞きします（同学習会は、家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱える被保護世帯，経済的困窮等により支援を必要とするひとり親家庭及び京都市生活困窮者自立支援相談支援事業実施要綱に基づく自立相談支援機関が支援する生活困窮世帯の子どもに対して無料で実施される学習会です。）。

（１）「生活保護世帯等生活困窮世帯の子どもに対する学習支援」が実施されていることはご存知ですか。

- | | | | | | |
|----------|---|--------|---------|---|--------|
| 1. 知っている | → | 【(2)へ】 | 2. 知らない | → | 【(3)へ】 |
|----------|---|--------|---------|---|--------|

（２）「生活保護世帯等生活困窮世帯の子どもに対する学習支援」を利用したことはありますか。

- | | | | | | |
|--------------|---|----------|--------------|---|--------|
| 1. 利用したことがある | → | 【問 36 へ】 | 2. 利用したことがない | → | 【(3)へ】 |
|--------------|---|----------|--------------|---|--------|

（３）利用してみたいと思いますか。

- | | | | | | |
|-------|---|----------|---------|---|--------|
| 1. 思う | → | 【問 36 へ】 | 2. 思わない | → | 【(4)へ】 |
|-------|---|----------|---------|---|--------|

（４）利用してみたいと思わない理由はなんですか。当てはまる番号に○をつけてください（複数回答可）。

- | | | |
|---------------|------------|------------------|
| 1. 学力に不安がない | 2. 部活動が忙しい | 3. 学習塾や習い事に通っている |
| 4. 家族の家事等で忙しい | 5. その他（ | ） |

問 36 あなたの最終学歴について，当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|-----------|--------------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 | 3. 高等専門学校 |
| 4. 短大 | 5. 大学・大学院 | 6. 専修学校・各種学校 |
| 7. その他（ | | ） |

※以下の問 37～41 の質問については，お子さんが複数いる場合は，最も適当と思われる箇所 1 つに○をつけてください。

問 37 お子さんの学校での成績について，当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 成績良好 | 2. まあまあ良好 | 3. 普通 |
| 4. やや遅れている | 5. かなり遅れている | 6. わからない |

問 38 お子さんについて，学校の授業以外で，過去 1 年間に，自宅以外での文化芸術活動（映画，音楽，絵画，写真，演劇，能・狂言・歌舞伎などの鑑賞，体験など）や自然体験（山登り，海水浴，川遊び，キャンプなど），スポーツ活動を行う機会の程度について，それぞれに当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

文化芸術活動	1. 週 1 回以上 4. 年 1 回以上	2. 月 1 回以上 5. まったくない	3. 年数回以上 6. わからない
自然体験	1. 週 1 回以上 4. 年 1 回以上	2. 月 1 回以上 5. まったくない	3. 年数回以上 6. わからない
スポーツ活動	1. 週 1 回以上 4. 年 1 回以上	2. 月 1 回以上 5. まったくない	3. 年数回以上 6. わからない

問 39 あなたは，お子さんに対し，宿題を見るなど，勉強を教えることがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. ない |
|---------|-----------|----------|-------|

問 40 お子さんの様子について、それぞれに当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	1. できる	2. どちらか という と できる	3. どちらか いうと できない	4. できない	5. わからない
将来の明るい希望 を話することができる	1	2	3	4	5
自信を持って、行 動したり人と関わ ることができる	1	2	3	4	5
目標に向かって努 力することができる	1	2	3	4	5

問 41 お子さんが、朝食・夕食を 1 週間に何日程度食べているか、誰と食べていることが多いかについて、それぞ
れに当てはまる番号に○をつけてください。

	朝食	夕食
1 週間に何日程度食べていま すか (あてはまる番号 1 つに○)	1. ほぼ毎日 2. 週に 4～5 日 3. 週に 2～3 日 4. ほとんど食べない 5. わからない	1. ほぼ毎日 2. 週に 4～5 日 3. 週に 2～3 日 4. ほとんど食べない 5. わからない
誰と食べる人が多いですか (お子さんから見て、当てはま る番号すべてに○)	1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. きょうだい(兄弟姉妹) 6. 本人(お子さん)のみ 7. その他() 8. わからない	1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. きょうだい(兄弟姉妹) 6. 本人(お子さん)のみ 7. その他() 8. わからない

■小学校 6 年生までのお子さんがおられる方にお聞きします。

問 42 あなたは、お子さんと遊ぶ(外出、からだを動かして遊ぶ、トランプ・ごっこ遊びなど全般)機会、どの程度ありま
すか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日	2. 週に 3～4 日	3. 週に 1～2 日
4. 月に 1～2 日	5. めったにない	

■高校 3 年生までのお子さんがおられる方にお聞きします。

問 43

(1) あなたのご家庭では、お子さんの夕食をつくる(料理する)ことがどの程度ありますか。当てはまる番号
1 つに○をつけてください。

1. ほとんど毎日	2. 週に 4～5 日程度	3. 週に 2～3 日程度
4. 月に数日(休日など) → 【(2)へ】	5. ほとんどつくらない → 【(2)へ】	

(2) (1) で「4. 月に数日（休日など）」、又は「5. ほとんどつくらない」と回答された方だけにお聞きします。

お子さんの食事で最も多いものについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 外食
2. スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜、弁当
3. インスタント・レトルト食品
4. お菓子
5. 親戚、知人がつくった食事
6. わからない
7. その他（ ）

問 44 日々の生活において、子育てにかかる時間やお金などの優先度をどのようにお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 最も優先すべき
2. できるなら優先すべき
3. 他に優先すべきことがある
4. わからない

■お子さんや近所の人等との関係についてお聞きます。

問 45 家族・親戚以外で、あなたが日頃からお子さんをみてもらったりすることのできる人はどなたですか。当
てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 近所の人
2. 職場・仕事に関係のある人
3. お子さんを通じての友人（保育園（所）などの保護者会やスポーツ少年団など）
4. あなたの趣味やスポーツなどを通じた活動の仲間
5. あなたの社会的活動を通じた活動の仲間
6. 学生時代の友人
7. その他（ ）
8. 特にいない

■日頃の悩みや相談のことについてお聞きます。

問 46 あなたが、ひとり親家庭になった当時、困ったことは何ですか。また、現在困っていることがありますか。
当てはまるすべての欄に○をつけてください。

	当 時	現 在
1. 子どもの養育・教育		
2. 家事		
3. あなたの就職や仕事		
4. 住居		
5. 病気や医療		
6. 相談相手がいらないこと		
7. 勤務先や近所との付き合い		
8. 家族や親戚との付き合い		
9. 異性との付き合い・再婚のこと		
10. 老後のこと		
11. 経済的なこと		
12. ひとり親家庭に対する差別や偏見		
13. その他（ ）		
14. 困っていることはない		

問 47 あなたが、ひとり親家庭になられた当時、困った問題が起きた場合、どなたに相談しましたか。また、現在どなたに相談しますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

	当 時	現 在
1. 自分で解決		
2. 自分の子どもの相談		
3. 両親・親戚などに相談		
4. 友人・知人に相談		
5. 近所の人に相談		
6. 職場の上司・同僚に相談		
7. 公的な機関に相談		
8. 前の配偶者に相談		
9. その他（ ）		
10. 相談相手がいらない、方法がわからない		

(7に○をつけられた方は問 48 へ)

問 48 あなたが、これまで悩みごとなどを相談したことがある公の機関等はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 民生・児童委員・主任児童委員
2. 市政協力委員や町内会長など
3. 市会議員・府議会議員
4. 保健福祉センター子どもはぐくみ室
5. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）
6. 京都市ひとり親家庭支援センター（ゆめあす）
7. 市民相談・区民相談
8. 京都市男女共同参画センター（ウイングス京都）
9. 京都府男女共同参画センター（らら京都）
10. 公共職業安定所（ハローワーク）
11. マザーズハローワーク烏丸御池
12. マザーズジョブカフェ（京都テルサ内）
13. 交通事故相談所
14. 家庭裁判所
15. 警察署
16. 保育園（所）・幼稚園・認定こども園
17. 児童館
18. 学校
19. 弁護士会の法律相談センター
20. 日本司法支援センター（法テラス）
21. その他（

）

■現在行われている福祉施策等についてお聞きます。

問 49 あなたが知っている、又は利用したことのある制度・施策について、当てはまるすべての欄に○をつけてください。

(1) ひとり親家庭支援施策

	知っている	利用している・ 利用したことがある
1. 児童扶養手当 18歳に達して以後、最初の3月31日までの子どものいるひとり親家庭に支給される手当		
2. 母子父子寡婦福祉資金貸付制度 ひとり親家庭等の方に対する各種資金の貸し付けを行う制度		
3. 母子生活支援施設（野菊荘、本願寺ウィスタリアガーデン、東山ファミリーホーム、ヴェインテ） 母子家庭の母と18歳未満の子が一緒に入所できる児童福祉施設		
4. ひとり親家庭等医療費支給制度 ひとり親家庭等の親と子がお医者さんなどにかかったときに、窓口で支払われる医療費を助成する制度		
5. ひとり親家庭等日常生活支援事業 ひとり親家庭等の方が、自立促進のために必要な事由や傷病や冠婚葬祭など主に一時的に家事・育児にお困りの場合に家庭生活支援員を派遣する事業		
6. 公営住宅の優先入居 住宅に困っているひとり親家庭の方が公営住宅に優先的に入居できる制度		
7. 自立支援教育訓練給付金事業 厚生労働大臣指定講座等を受講し、修了した場合に支払った入学金及び受講料の最大8割に相当する額が支給される事業		
8. 高等職業訓練促進給付金等事業 1年以上のカリキュラムを必要とする看護師等の対象資格を取得のため、専門学校等で修学している場合に、修業期間中に訓練促進費を支給する事業		
9. ひとり親家庭高等職業訓練促進資金 高等職業訓練促進給付金を受給し、将来取得した資格が必要な業務に従事しようとする方に対し、養成機関の入学時及び養成機関の課程を修了し資格を取得した時に、貸し付けを行う制度		
10. ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講するひとり親家庭の親又は児童に対し、支払った入学金及び受講料の最大8割に相当する額が支給される事業		
11. 生活保護世帯等生活困窮世帯の子どもに対する学習支援 家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱える非保護世帯、経済的困窮等により支援を必要とするひとり親家庭等の子どもに対して無料の学習会を実施する事業		

(2) その他福祉施策

	知っている	利用している・利用したことがある
手当・助成		
1. 入院助産制度		
2. 出産育児一時金		
3. 子ども医療費支給制度		
4. 児童手当		
5. 京都市高校進学・修学支援金		
子育て支援		
6. スマイルママ・ホッと事業		
7. 育児支援ヘルパー派遣事業		
8. 産前産後ヘルパー派遣事業		
子どもを預ける		
9. 保育園・認定こども園		
10. ファミリーサポート事業		
11. 学童クラブ事業（児童館）		
12. ショートステイ		
13. トワイライトステイ		
障害のある子どもへの支援		
14. 特別児童扶養手当		
15. 障害児福祉手当		
16. 重度心身障害者医療費支給制度		
17. 自立支援医療		
18. 放課後等デイサービス事業		
その他		
19. 生活保護		
20. 職業訓練手当支給制度		

問 50 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすについてお聞きします（京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすは、京都市が、ひとり親家庭の相談や交流を始め、自立に向けた支援事業に総合的に取り組む拠点として設置している施設です。）。

（1）京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすを知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

(2) 下表の1から12の京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすの事業を知っていたり、これまでに利用したことがありますか。また興味がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

	知っている	これまでに利用したことがある	興味がある
1. 就業の相談			
2. 仕事に役立つセミナー (就職準備セミナー)			
3. 自立支援プログラム ハローワークと連携しつつ、自立支援計画に沿った自立、就職支援を行う。			
4. パソコン講習会			
5. パソコン自習支援 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすのパソコンを使用して、自習等を行う。			
6. 無料法律相談			
7. 養育費・子どもとの面会交流などの相談			
8. 日常生活の相談			
9. 親と子の交流会 (バーベキュー等)			
10. 生活に役立つセミナー (育児、クッキング、健康づくりに関する講習等)			
11. mama*cafe (お母さんの交流会)			
12. 着物の貸出し			

(3) 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあすでのひとり親家庭の方のみを対象としたイベントや、参加者同士での情報交換や意見交換ができる場に参加したいですか。

1. 参加したい 2. 母子(父子)家庭だけが対象なら参加したい 3. 参加したくない 4. わからない

(4) (3)で「3. 参加したくない」、「4. わからない」と答えた方にお聞きします。参加したくない、わからない理由について当てはまる番号1つだけに○をつけてください。

1. 参加する時間がない 2. 参加する必要性を感じない 3. 参加するのが面倒 4. 自分の家庭の事情を他人に知られたくない 5. その他 ()
--

■行政施策等についてお聞きします。

問 51 下記の問いについてあなたの実感に近いものに○をつけてください。(項目ごとに○は1つ)

	そう思う	どちらか という そう思う	どちらと もいえ ない	どちらか という そう思 わない	そう思 わない
1. 乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	1	2	3	4	5
2. 身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる	1	2	3	4	5
3. 必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	1	2	3	4	5
4. 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）の時に、必要な支援を受けられる環境である	1	2	3	4	5
5. 障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行われている	1	2	3	4	5
6. 子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5
7. 子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがある	1	2	3	4	5
8. 子どもへの教育環境は充実している	1	2	3	4	5
9. 青少年が健全に育つ環境である	1	2	3	4	5
10. 身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	1	2	3	4	5
11. 世間には、ひとり親家庭に対する偏見があると思う	1	2	3	4	5
12. 子どもがいなかったら生活が楽になると思うことがある	1	2	3	4	5

問 52

(1) ひとり親家庭の自立・安定を図るため、あなたが市や国に要望したいことは何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 職業訓練の場や働く機会を増やすなど安定的な就業の支援を充実する
2. 市営住宅などの公営住宅を増やすなど居住の確保がしやすい環境を整備する
3. 健康診断や保健相談・指導を充実する
4. 医療や介護サービスを充実する
5. 保育園（所）を整備する
6. 学童保育の場を増やす
7. 生活上の悩みの相談窓口を充実する
8. 学習や教養などを身につける機会を増やす
9. スポーツやレクリエーションに参加できる機会を増やす
10. いろいろな施設や制度のPRを充実する
11. 民間ボランティアや社会福祉団体を育成する
12. ひとり親家庭に対する偏見のない世の中をつくる
13. 年金・手当など経済的支援を充実する
14. 子どもの居場所づくりや学習支援
15. 養育費確保のためのアドバイス
16. その他（ ）
17. 特に要望はない

問 52

(2) (1) で○を付けた選択肢について、特に望むことやご意見がありましたらお聞かせください。

問 53 ひとり親家庭ということで、これまで何かつらい思いをされたことがありましたら、お聞かせください。

お忙しいところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
この調査票は、平成 年 月 日 () までに、
同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。